

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国語 | | 科目名 | 言語国語 |
|----------------|-------|--|-----|-------|---------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 『改訂版 新編 言語文化』（数研出版） |
| 1 | 必修 | 2 | 70 | 補助教材 | 『漢字ボックス』（浜島書店） |
| 授業の概要 | | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | | | |
| 学習到達目標 | | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。 | | | |
| 求められる力（目指す生徒像） | | 漢字の読み書きをはじめ、高校1年生に必要な語彙力を身につけ、論理的な文章を正確に読み取ることが出来る。物語的な文章では、筆者の考え方や登場人物の心情を的確に理解できる。 | | | |

| 観点別評価（％） | | | | | | |
|---------------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 定期試験 | 小テスト | 課題提出 | 単元テスト | 授業姿勢 | 合計 |
| 知識・技能 | 50 | 20 | 30 | 30 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 50 | | 30 | 20 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | 30 | | 70 | 100 |

年間学習計画（前期）

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|--|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ・ことばと出会う 「言葉の森を育てよう」 ・古文に親しむ 「いろは歌・古文冒頭選」 | 本文読解・音読 言葉について考える 本文読解・暗唱 古典の基礎基本を学ぶ | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | ・漢文に親しむ 「格言」 ・ことばと出会う 「漢字と仮名の使い分け」 | 本文読解・音読 漢文の基礎基本を学ぶ 本文読解・音読 日本語表記の特徴について考える。 | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | ・古文に親しむ 「見のそら寝」 ・現代に生きる言葉 「守株」 | 本文読解・音読 古典のきまりを理解し、作品を読み味わう。古 | ○ | | ○ |
| | | 本文読解・音読 漢文の基礎基本をもとに、内容を読み取る。漢 | ○ | | ○ |
| 7・8月 | ・表現を味わう 「どんかつ」 ・随筆を楽しむ 「徒然草」 ・現代に生きる言葉 「借虎威」 | 本文読解・音読 | | ○ | ○ |
| | | 本文読解・音読 | | ○ | ○ |
| | | 本文読解・音読 | ○ | | ○ |
| 9月 | ・表現を味わう 「一瞬の風になれ」 ・随筆を楽しむ 「枕草子」 ・古人に学ぶ 「論語」 | 本文読解・音読 POP制作 | | ○ | ○ |
| | | 本文読解・音読 テーマ作文執筆 | | ○ | ○ |
| | | 本文読解・音読 | ○ | | ○ |

年間学習計画（後期）

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|--|----------------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | ・文化を見つめる 「足し算の文化」 ・物語の広がり 「平家物語」 ・漢文を楽しむ 「鶏鳴狗盗」 | 本文読解・音読 本文読解・音読 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | ・文化を見つめる 「ほどほどのデザイン」 ・旅への想い 「土佐日記」 | 本文読解・音読 本文読解・音読 | | ○ | ○ |
| 12・1月 | ・漢文を楽しむ 「人面桃花」 ・物語を受け継ぐ 「羅生門」 ・旅への想い 「おくのほそ道」 | 本文読解・音読 | ○ | | ○ |
| | | 本文読解・音読 | | ○ | ○ |
| 2月 | ・近代文学に触れる 「夢十夜」 | 本文読解・音読 言葉を絵で表現する | | ○ | ○ |
| 3月 | ・詩歌の調べ 「春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた」 | 内容理解 俳句制作 | ○ | | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国語 | | 科目名 | 現代の国語 |
|--------------------|-------|--|-----|-------|-------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 『新編 現代の国語』(大修館書店) |
| 1 | 必修 | 2 | 70 | 補助教材 | |
| 授業の概要 | | 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 | | | |
| 学習到達目標 | | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 各テーマに沿って、他者に対して自分の言葉で論理的に伝えようとしている。他者の意見を読んだり、聞いたりに自分の意見を深めようとしている。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | |
|---------------|------|------|------|--|-----|
| | 授業姿勢 | 課題提出 | 活動評価 | | 合計 |
| 知識・技能 | | 50 | 50 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | 50 | 50 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 100 | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|--|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ・ことばをひらく | 本文読解。論点を共有し、話し合いの仕方や結論の出し方を学ぶ。 「この春、なにを始めよう」 「コミュニケーションは技術だ」 | | ○ | ○ |
| 5月 | ・正しく書こう ・正しく読もう ・ことばを選んで話そう | 正しい文章を書くための知識を学ぶ。 時と場に応じた言葉の使い分けについて学ぶ。 テーマを決めて話し合う。 | ○ | | ○ |
| 6月 | ・実用文を読もう ・わかりやすく説明しよう ・聞き取りのレッスン | 説明文の読解を通して、わかりやすい文の書き方や接続表現、文章構成について学ぶ。 簡単な説明文を書く。 ミニインタビューをする。 | ○ | | ○ |
| 7・8月 | ・友達のをさを紹介しよう ・聞いたことを工夫して伝えよう ・ショートスピーチをしよう | 聞き取ったことをまとめる。 伝わるように話す練習をする。 ショートスピーチに挑戦する | ○ | | ○ |
| 9月 | ・論理を読み取ろう ・依頼状・礼状を書こう ・意見文を書こう | 「商品と贈り物の違い」他 相手を動かす文を書く 意見文を書く | ○ | | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|--|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | ・話し合って結論を出そう ・説得力を高める | コミュニケーションの仕方、話し合いについて学ぶ。 意見文の基礎について学び、執筆してみる。 ミニ討論会を行う。 | ○ | | ○ |
| 11月 | ・対話マスターになろう ・本のPOPを作ろう | 対話のレッスン・聞き取りのレッスン 本のPOPを作る。 | ○ | | ○ |
| 12・1月 | ・情報を吟味しながら読む。 ・レポートを書こう ・見学旅行の企画書をつくろう | 「情報の力関係」、他 テーマに沿ってレポートを書く。 魅力的な企画書を書こう | ○ | | ○ |
| 2月 | ・見学旅行のプレゼンをしよう | プレゼンテーションの仕方を学び、実践する。 | | ○ | ○ |
| 3月 | ・学校の魅力を紹介しよう | 「料理のレシピを書こう」 | | ○ | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 地理歴史 | | 科目名 | 地理総合 |
|----------------|-------|--|-----|-------|----------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 高校生の地理総合(帝国書院) |
| 2 | 必修 | 2 | 70 | | 新詳高等地図(帝国書院) |
| 授業の概要 | | 地誌を通し社会的事象の地理的な見方・考え方を基礎・基本を学ぶ中で養い、課題を追究・解決する活動をしていく。あわせて公民としての資質・能力を育成するため、時事的な課題の探究も行う。 | | | |
| 学習到達目標 | | 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、基礎・基本的内容を身につけ課題を追究・解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を育成する。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 日本や世界の地理の基礎的・基本的事項について、理解したことを副教材や資料などをもとに書く・話すことで表現できる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|-----|------|------|--|-----|
| | 定期試験 | 提出物 | 授業姿勢 | 授業姿勢 | | 合計 |
| 知識・技能 | 80 | 20 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 70 | 20 | 10 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 30 | 30 | 40 | | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|---|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | える現代世界 (地誌:中学校の復習) 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 2節 地図と地理情報システム | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 2章 結びつきを強める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 第2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 5節 多様な生活文化と地理的環境 ・東アジア ・東南アジア ・インド ・中央アジア ・西アジアと北アフリカ | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|--|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | ・サハラ以南の南アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アメリカ合衆国 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | ・ラテンアメリカ ・オセアニア 2章 地球的課題と国際協力 1節 人口問題 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 2節 食糧問題 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | 3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 3月 | 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 数学 | | 科目名 | 数学 I |
|--------------------|-------|--|-----|-------|-----------------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | Select 数学 I (東京書籍) |
| I | 必修 | 3 | 105 | 補助教材 | Select Buddy CANVAS 数学 I+A (東京書籍) |
| 授業の概要 | | 1年間通して、数学 I の全範囲を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。 | | | |
| 学習到達目標 | | 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 各分野(計算・論理・関数・図形・統計)の考え方の理解や公式の活用を目指す。数学的な見方や考え方を探究し続けるとともに、ノートやプリント演習など作業に集中して取り組む主体性を身につける。 | | | |

観点別評価 (%)

| | 定期試験 | 小テスト | レポート・課題 | 授業姿勢 | ノート記入 | 合計 |
|---------------|------|------|---------|------|-------|-----|
| 知識・技能 | 90 | 10 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 10 | 20 | | 10 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 20 | 30 | 30 | 20 | 100 |

年間学習計画 (前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|----|--|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 中学校の復習 第1章 数と式 第1節 式の計算 1. 単項式と多項式 2. 多項式の加法・減法・乗法 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・多項式の計算ができる | ○ | | ○ |
| 5月 | 3. 因数分解 第2節 実数 1. 実数 2. 根号を含む式の計算 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・工夫を要する展開や 因数分解の計算ができる ・ルートのついた計算ができる | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 第3節 1次不等式 6. 不等式とその性質 3. 1次不等式の解法 4. 不等式的应用 | | ○ | | ○ |
| 7月 | 第2章 集合と論証 第1節 集合 1. 集合 第2節 命題と論証 1. 命題と条件 2. 論証 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・集合について理解する | ○ | | ○ |
| 8月 | 第3章 2次関数 第1節 関数とグラフ 1. 関数 2. 2次関数とそのグラフ 3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・関数を理解し、2次関数のグラフが描ける | ○ | | ○ |
| 9月 | 第2節 2次方程式・2次不等式 1. 2次方程式の解法 2. 2次方程式の実数解の個数 3. 2次関数のグラフとx軸の共有点 4. 2次不等式 5. 2次不等式的应用 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・2次方程式・2次不等式が解ける | ○ | ○ | ○ |

年間学習計画 (後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|--|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第4章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比 1. 直角三角形と三角比 2. 三角比の相互関係 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・三角比を理解し、距離や高さが求められる | ○ | | ○ |
| 11月 | 第2節 三角比の拡張 1. 三角比と座標 2. 拡張した三角比の相互関係 第3節 二内角の中心 1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角比が与えられたときの角 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・正弦定理・余弦定理を理解し、長さや角の大きさが求められる | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 3. 三角形の面積 4. 空間図形の計量 4. 空間図形の計量 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・正弦定理・余弦定理を理解し、長さや角の大きさが求められる | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | 第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析 1. データの整理と代表値 2. 四分位数と箱ひげ図 3. 分散と標準偏差 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・データの代表値や散らばり、相関が求められる | ○ | | ○ |
| 3月 | 第2節 データの相関 1. 相関係数 2. 相関係数 第3節 仮説検定の考え方 1. 仮説検定の考え方 | ・説明・問題演習・板書 △アワーク・グループワーク・調べ学習 ・仮説検定の考えが理解できる | | ○ | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 数学 | | 科目名 | 数学A |
|--------------------|-------|---|-----|-------|------------------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | Select 数学A(東京書籍) |
| 1 | 必修 | 2 | 70 | 補助教材 | Select Buddy CANVAS 数学 I +A (東京書籍) |
| 授業の概要 | | 1年間を通して、数学Aの単元のうち、「場合の数と確率」と「図形の性質」を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。 | | | |
| 学習到達目標 | | 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 「場合の数と確率」や「図形の性質」の学習を通して、事象の総数や起こりやすさ、図形の長さや角度を求めることについて考える。数学的な見方や考え方を探究し続けるとともに、ノートやプリント演習など作業に集中して取り組む主体性を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|-------|------|------|------|-------|--|-----|
| | 単元テスト | 小テスト | 課題提出 | 授業姿勢 | ノート記入 | | 合計 |
| 知識・技能 | 90 | 10 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 10 | 20 | | 10 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 20 | 30 | 30 | 20 | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | | |
|------------|--|--|-------|----------|---------|---|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 | |
| 4月 | 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1 集合 2 集合の要素と個数 3 樹形図、和の法則、積の法則 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・場合の数が数えられる | ○ | | | ○ |
| | | | ○ | | | ○ |
| | | | ○ | | | ○ |
| 5月 | 4 順列 5 円順列と重複順列 6 組合せ | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・場合の数が数えられる | ○ | ○ | | ○ |
| | | | ○ | | | ○ |
| 6月 | 第2節 確率 7 確率の意味 8 確率の計算 9 確率の基本性質 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・確率の計算ができる | ○ | ○ | | ○ |
| | | | ○ | | | ○ |
| | | | ○ | | | ○ |
| 7・8月 | 10 和事象の確率 11 余事象の確率 12 独立な試行の確率 13 反復試行の確率 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・確率の計算ができる | ○ | | | ○ |
| | | | ○ | | | ○ |
| | | | ○ | | | ○ |
| 9月 | 14 条件付き確率 15 期待値 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・条件付き確率、期待値の計算ができる | | ○ | | ○ |
| | | | | | | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 1 角の二等分線と比 2 三角形の外心、内心、重心 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・三角形の性質が理解できる | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | |
| 11月 | 3 チェバ・メネラウスの定理 第2節 円の性質 4 円周角の定理 5 円に内接する四角形 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・円の性質が理解できる | | ○ | ○ |
| | | | ○ | | ○ |
| 12・1月 | 6 円と接線 7 接線と弦の作る角 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・円の性質が理解できる | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | |
| 2月 | 8 方べきの定理 9 2つの円 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・円と直線、2つの円の関係性が理解できる | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | |
| 3月 | 第4節 空間図形 12 空間における直線と平面 13 多面体 | ・説明・問題演習・板書 △ワーク・グループワーク・調べ学習 ・空間の直線、平面の関係が理解できる | | ○ | ○ |
| | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 理科 | | 科目名 | 生物基礎 |
|----------------|-------|--|-----|-------|------------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 改訂版 新編 生物基礎(数研出版) |
| 1 | 必修 | 2 | 70 | 補助教材 | 改訂版 新編 生物基礎 準拠 サポートノート(数研出版) |
| 授業の概要 | | 生物としての共通の特徴、ヒトの体の調整、生物の多様性と生態系など、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 生物や生物現象に関わる基礎的な内容を理解し、日常生活や社会との関連付けて、科学的に探究することができる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 学習した内容を自分事として捉え、日常生活や社会との関りについて考え、主体的に学習を深めることができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|------|--|--|-----|
| | 定期試験 | 小テスト | 課題提出 | 授業姿勢 | | | 合計 |
| 知識・技能 | 60 | 30 | 10 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 30 | 10 | | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 30 | 30 | 40 | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | | |
|------------|--------------------------------|--------|-------|----------|---------|--|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 | |
| 4月 | 第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 | 一斉授業 | ○ | | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ | |
| | | ワーク演習 | ○ | | | |
| 5月 | 第2節 エネルギーと代謝 第3節 呼吸と光合成 | 一斉授業 | ○ | | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ | |
| | | ワーク演習 | ○ | | | |
| 6月 | 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA | 一斉授業 | ○ | | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ | |
| | | ワーク演習 | ○ | | | |
| 7・8月 | 第2節 遺伝情報の複製と分配 | 一斉授業 | ○ | | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ | |
| | | ワーク演習 | ○ | | | |
| 9月 | 第3節 遺伝情報の発現 | 一斉授業 | ○ | | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ | |
| | | ワーク演習 | ○ | | | |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|--|--------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | | ワーク演習 | ○ | | |
| 11月 | 第2節 体内環境の維持の仕組み | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | | ワーク演習 | ○ | | |
| 12・1月 | 第3節 免疫のはたらき 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | | ワーク演習 | ○ | | |
| 2月 | 第2節 植生の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性 | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | | ワーク演習 | ○ | | |
| 3月 | 第4節 生態系のバランスと保全 | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | | ワーク演習 | ○ | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 保健体育 | | 科目名 | 体育 |
|--------------------|---|------|-----|-------|-----------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 現代高等保健体育(大修館書店) |
| 1 | 必修 | 3 | 105 | 補助教材 | |
| 授業の概要 | 様々な種目を通し、自らの体力を高めるとともに、集団行動に必要な技能を習得する。 各種目のスキルテストを実施し、運動の基礎基本を身につける | | | | |
| 学習到達目標 | 各種目の基礎・基本をもとに、周囲と協力し練習やゲームに取り組むことができる。 自主的・自律的に集団行動をとることができる。 | | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | 集団での行動に対する責任感。 自己の成長を目指した継続力。 | | | | |

観点別評価(%)

| | 活動観察 | スキルテスト | ノート記入 | 授業姿勢 | グループ学習 | 合計 |
|---------------|------|--------|-------|------|--------|-----|
| 知識・技能 | 30 | 30 | 20 | 10 | 10 | 100 |
| 思考・判断・表現 | 10 | 10 | 30 | 20 | 30 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 20 | 10 | 20 | 20 | 30 | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|---|---|--------|----------|-------------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ○オリエンテーション ○体づくり運動 ○集団行動 | ペアワーク・グループワーク ワークシート | | ○ ○ | ○ ○ |
| 5月 | ○新体カテスト ○陸上競技 I (短距離走、長距離走) | ペアワーク・グループワーク スキルテスト 記録会 | ○ | ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 6月 | ○選択 I ・陸上 II (走幅跳/砲丸) ・器械運動(マット) | ペアワーク・グループワーク ワークシート 記録会 | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | ○ダンス(現代的なリズムのダンス) | グループワーク・ディスカッション スキルテスト 発表会 | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | ○球技 I 男子:バレーボール/サッカー 女子:バドミントン/バレーボール | グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム | ○ ○ | ○ ○ | ○ ○ ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|---|---|--------|----------|-------------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | ○球技 男子:バドミントン/バスケットボール 女子:バスケットボール/卓球 | グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム | ○ ○ | ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 11月 | ○選択 II ・球技(バレーボール/バスケットボール/バド ミントン/卓球) ・武道(柔道) | グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム | ○ ○ | ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 12・1月 | ○体育理論 スポーツの歴史的発展と変容 スポーツの技術、戦術、ルールの変化 | グループワーク・ディスカッション ワークシート | ○ | ○ ○ | ○ |
| 2・3月 | ○選択 III ・球技(クロスカントリースキー/ヘルスパレ ボール・ボッチャ) | グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム | ○ ○ | ○ ○ | ○ ○ ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 保健体育 | | 科目名 | 保健 |
|--------------------|-------|---|-----|-------|---------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 現代高等保健体育 改訂版(大修館書店) |
| I | 必修 | I | 35 | 補助教材 | 現代高等保健体育ノート 改訂版 |
| 授業の概要 | | 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。 | | | |
| 学習到達目標 | | 健康で安全な生活を送るための知識や能力を身に付けることができる。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 課題やグループ学習に責任を持って取り組む姿勢。 協働的な取り組みを通して、コミュニケーションを図り、自己理解・他者理解を深める。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|--------|------|------|-------|-----|
| | 小テスト | グループ学習 | 課題提出 | 授業姿勢 | ノート記入 | 合計 |
| 知識・技能 | 50 | | 30 | | 20 | 100 |
| 思考・判断・表現 | | 20 | 40 | 20 | 20 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 20 | 20 | 10 | 20 | 30 | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---|--|-------|-------------|-------------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ○1-01健康の考え方と成り立ち ○1-02私たちの健康のすがた | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 5月 | ○1-15現代の感染症 ○1-16感染症の予防 ○1-17性感染症・エイズとその予防 | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 6月 | ○2-01事故の現状と発生要因 ○2-02安全な社会の形成 ○2-03交通における安全 (交通安全講話) | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 7・8月 | ○1-03生活習慣病の予防と回復 ○1-04がんの原因と予防 ○1-05がんの治療と回復 | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 9月 | ○2-04応急手当の意義と救急医療体制 ○2-05日常的な応急手当 ○2-06心肺蘇生法 (1日防災学校 10/1 心肺蘇生法) | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|--|--|-------|-------------|-------------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | ○1-06運動と健康 ○1-07食事と健康 ○1-08休養・睡眠と健康 | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 11月 | ○1-09喫煙と健康 ○1-10飲酒と健康 ○1-11薬物乱用と健康 | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 12・1月 | ○1-12精神疾患の特徴 ○1-13精神疾患の予防 ○1-14精神疾患からの回復 | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |
| 2・3月 | ○1-18健康に関する意思決定・行動選択 ○1-19健康に関する環境づくり | ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト | ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ |
| | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 芸術 | | 科目名 | 音楽 I |
|--------------------|-------|---|-----|-------|-------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 音楽 I Tutti+ |
| I | 選択 | 2 | 70 | 補助教材 | MUSIC NOTE |
| 授業の概要 | | 歌唱、器楽による基礎・基本的な技術力・表現力の向上、またそれらによって生まれる、楽しみ喜びを味わう。多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。 | | | |
| 学習到達目標 | | 音楽の幅広い活動を通して、技術面のみならず表現活動の素晴らしさ、楽しさを味わう。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 1 客観的な観点から、多様な音楽の良さや音楽表現の豊かさや美しさを感じることができる。 2 基本的な楽典を理解することができ、演奏に活かすことができる。 | | | |

観点別評価 (%)

| | 技能試験 | 課題提出 | 活動評価 | ポートフォリオ | 合計 |
|---------------|------|------|------|---------|-----|
| 知識・技能 | 60 | 30 | | 10 | 100 |
| 思考・判断・表現 | 40 | 30 | 20 | 10 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 40 | 50 | 10 | 100 |

年間学習計画 (前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|---------------------------------|--|------------------------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ○歌唱 (校歌・少年時代・浜辺の歌) | ・校歌を覚えて歌えるようにする ・ジャンルに合わせた歌い方の工夫 (発声・音程など) | ○ | ○ | ○ |
| | ○リコーダー (アルト) | ・基本的な奏法の確認 (運指・プレスコントロール) | ○ | | ○ |
| 5月 | ○楽曲紹介 | ・楽曲分析、解説、資料作成 | | ○ | ○ |
| | ○楽典・聴音 | ・音楽のつくりや構成を理解 | ○ | | |
| 6月 | ○リコーダー・アンサンブル (フレール・ジャック ほか) | ・複数パートでの演奏の仕方 ・音域の拡大 | ○ | ○ | ○ |
| | ○鑑賞 (舞台芸術:ミュージカル) | ・楽曲の構造や歴史的文化的背景の学習 ・様々な場面における意見交流 | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | ○器楽 | ・キーボードの基本的奏法 | ○ | | |
| | 9月 | ○創作 | ・音階の種類と構造 ・5音音階から創作 | ○ | ○ |

年間学習計画 (後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|-----------------|--------------------------------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | ○創作 | ・イメージに合わせた音楽作りの工夫 | | ○ | ○ |
| 11月 | ○器楽 (文化箏、三線) | ・歴史的背景 ・音色の工夫と奏法の習得 | ○ | ○ | |
| 12・1月 | ○歌唱 (アンサンブル・合唱) | ・ハーモニーを意識した歌い方 ・選曲、役割分担 ・表現の工夫 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | ・効果的な練習方法 | | ○ | |
| 3月 | | ・発表 | ○ | | ○ |



令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 芸術 I | | 科目名 | 書道 I |
|----------------|-------|--|-----|-------|------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 『書道 I』(光村図書) |
| I | 選択 | 2 | 70 | 補助教材 | 『高校硬筆練習帳』(大修館書店) |
| 授業の概要 | | 『漢字仮名交じりの書』『漢字の書』『仮名の書』、篆刻・実用書(硬筆)における表現力を偏りなく身に付ける。また、鑑賞を通して書の美について考えを深める。 | | | |
| 学習到達目標 | | 1 書の多様な表現について理解し、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけることができる。 2 主体的に書の幅広い活動に取り組み、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりする。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 筆の機能を理解して古典の特徴(線質・字形等)を紙面に表現できる。 古典の特徴を生かし、自分の考えや思いを表現することができる。 | | | |

観点別評価(%)

| | 授業姿勢 | 課題提出 | 活動観察 | | | 合計 |
|---------------|------|------|------|--|--|-----|
| 知識・技能 | | 70 | 30 | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | 70 | 30 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 100 | | | | | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|---------------|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 篆刻 | 名前の篆書体を調べ、授業で作る印を作る。 | ○ | ○ | |
| 5月 | (楷書)孔子廟堂碑 | 伸びやかな点画、向勢で丸みがある書風を表現する。 | ○ | ○ | |
| | (楷書)九成宮醜泉銘 | 直線的で、背勢である書風を表現する。 | ○ | ○ | |
| 6月 | 臨書作品制作 | 孔子廟堂碑、九成宮醜泉銘から選択し、臨書作品を制作する。 | | ○ | ○ |
| | (楷書)顔氏家廟碑・建中帖 | 顔法を理解し、律動性(リズム)をもって運筆 | ○ | ○ | |
| 7・8月 | 臨書作品制作 | 顔氏家廟碑・建中帖から選択し、臨書作品を制作する。 | ○ | ○ | |
| | (楷書)牛餽造像記 | 鋭角的な点画を表現する。 牛餽造像記が、顔氏家廟碑、建中帖像記の表現を用いて、作品を制作する。 | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | (行書)蘭亭序 | 行書の特徴を知り、線と線のつながりを意識する。 | ○ | ○ | |
| | (行書)争坐位文稿 | 力強い書風である顔真卿の行書を学ぶ。 | ○ | ○ | |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|--------------|------------------------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | (隷書)曹全碑 | 隷書の特徴を知り、蔵鋒を用いて表現をする。 | ○ | ○ | |
| 11月 | カレンダー制作 | カレンダーを行書、隷書、篆書を使って表現する。 | | ○ | ○ |
| 12・1月 | (仮名)平仮名・変体仮名 | 字の変遷を知り、平仮名・変体仮名について学ぶ。 | ○ | ○ | |
| | (仮名)蓬萊切 | 仮名の古典作品を書き、短歌の書き方について知る。 | ○ | ○ | |
| 2月 | 漢字仮名交じりの書 | 漢字仮名交じり書について学習し、校歌や唱歌を作品化する。 | ○ | ○ | ○ |
| 3月 | 漢字仮名交じりの書制作 | 漢字仮名交じり書、書きたい言葉を探し、創作する。 | | ○ | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 外国語(英語) | | 科目名 | 英語コミュニケーション I |
|----------------|-------|--|-----|-------|--|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | All Aboard! English Communication I (東京書籍) |
| I | 必修 | 3 | 105 | 補助教材 | Eラーニングで身につける初級英語入門(ニューブレイン・アライアンス) |
| 授業の概要 | | 英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基本的な能力を養う。 | | | |
| 学習到達目標 | | 簡単な物語や身近な事に関する文章や指示を理解することができる。また、英語を使って簡単なやりとりをしたり、自分の意見を述べたり、文章を書くことができる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、自分や他人のことについての情報を伝達する際に活用することができる。また、簡単なやりとりを支援が得られればすることができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|-------|------|------|------|--|-----|
| | 定期試験 | 単元テスト | Pテスト | 課題提出 | 授業姿勢 | | 合計 |
| 知識・技能 | 70 | 30 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | | 40 | | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | | 60 | 40 | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | | | |
|------------|--|--|-------|----------|---------|--|----|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | | | 合計 |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 | | |
| 4月 | Lesson 1【be動詞、一般動詞、否定文、疑問文、過去形】 Breakfast around the World 【単元の目標】好きな食べ物について、英語で述べることができる。 | 各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | | | ○ |
| 5月 | Lesson 2【現在進行形、過去進行形】 Australia's Cute Quokka 【単元の目標】好きな動物について、英語で述べることができる。 | 各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | | | ○ |
| 6月 | Lesson 3【助動詞: can, will, must, should, have to, can't, won't】 like will spuce 【単元の目標】ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べるることができる。 | 各種テスト(試験・単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | | | ○ |
| 7・8月 | Lesson 4【to不定詞(名詞の働き、副詞の働き、形容詞の働き)、接続詞】 A Miracle Mirror 【単元の目標】行ってみたい場所について、英語で述べることができる。 | 各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | | | ○ |
| 9月 | Lesson 5【動名詞、「…に～をする」、「…に～してあげる」】 A Dream Engine 【単元の目標】将来の夢について、英語で述べるることができる。 | 各種テスト(試験・単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | | | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|--|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | Lesson 6【受け身】 A Funny Picture from the Edo Period 【単元の目標】好きな絵について、英語で述べるることができる。 | 各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | Lesson 7【比較表現(比較級・最上級・原級)】 A Diary of Hope 【単元の目標】関心のある人物について、英語で説明することができる。 | 各種テスト(試験・単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | Lesson 8【現在完了形(経験・継続・完了)、「…を～と呼ぶ」など】 A Door to a New Life 【単元の目標】人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。 | 各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | Lesson 9【現在分詞、過去分詞】 Ghosts in the Oceans 【単元の目標】環境を守るためにできることについて、英語で述べるることができる。 | 各種テスト(試験・単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | ○ |
| 3月 | Lesson 10【関係代名詞(who, which)、仮定法過去】 Pigs from across the Sea 【単元の目標】海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるることができる。 | 各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(リーディング) 課題提出 | ○ | ○ | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 外国語 | | 科目名 | 論理・表現ベーシック |
|----------------|-------|--|-----|-------|--|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | なし |
| 1 | 必修 | 2 | 70 | 補助教材 | Step by Step 4 Skills I CEFR A1レベル eラーニング 初級英語・入門 |
| 授業の概要 | | まずは英語に親しむところから始め、徐々にコミュニケーション能力の向上を目指すため、英語4技能をバランス良く扱っていく。はじめは、英検4級程度(学び直しレベル)の問題をベースに、短めの文章や中学校で習った英語をベースに、主に聞く(Listening)・話す(Speaking)活動に時間をかけるよう努める。年度後半からは、英検3級の問題をベースに、質問に関する簡単な意見と理由を書く(Writing)活動も設ける。 ★定期試験は(他英語授業と違い)9月・2月の期末試験のみとする(6月・11月の中間試験は行わない)。 | | | |
| 学習到達目標 | | 年度始めは学び直しレベル(英検4級レベル:CEFR[セファール]A1よりもひとつ下のレベル)からスタートし、最終的にはCEFR A1レベル(概ね英検3級ギリギリ合格レベル)を目標とする。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | ・英語での説明 or 聞こえた(書かれた)英文に対する解答を導ける。※わからなければ2回聞いてもよいし、日本語を求めても良い。ただし理解したら再度自ら周りに発信することが大事である。 ・(ペア、グループワーク等を通じ)自分の答だけでなく、他の答も参考にし、英語で話したり書いたりできる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|-----|------|------|------|------|--|-----|
| | 提出物 | 小テスト | Pテスト | 授業姿勢 | 定期試験 | | 合計 |
| 知識・技能 | 20 | 30 | | | 50 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | | 30 | 20 | 50 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 30 | 20 | 20 | 30 | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | | |
|------------|---|---|-------|----------|---------|---|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 | |
| 4月 | オリエンテーション 中学生レベル定着度合の確認 本校Can-Doリスト「学び直し」レベルの問題を用いた英語力チェック テキスト Unit 1 | Can-Doリスト配布 4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動 | | | | ○ |
| 5月 | Unit 1のつづき インプットの確認活動(1) | 小テスト 提出物 パフォーマンスタ(Pテスト) スピーキング 予定 | ○ | | | ○ |
| 6月 | *(参考)第1回英検 テキスト Unit 2 | 4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動 | | ○ | | ○ |
| 7・8月 | Unit 2のつづき インプットの確認活動(2) | 小テスト 提出物 パフォーマンスタ(Pテスト) スピーキング orライティング | ○ | | | ○ |
| 9月 | 前期末試験 テキスト Unit 3 | 定期試験(含 リスニング) 4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動 Can-Do振り返り | ○ | ○ | | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | *(参考)第2回英検 前期内容定着度合の確認 本校Can-Doリスト「学び直し」レベルの問題を用いた英語力チェック (小テストとして実施予定) Unit 3のつづき インプットの確認活動(3) | 4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動 パフォーマンスタ(Pテスト) スピーキング orライティング | ○ | | ○ |
| 11月 | インプットの確認活動(3) つづき 後期中間試験 | 小テスト 提出物 定期試験(含 リスニング) | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | テキスト Unit 4・5 インプットの確認活動(4) *(参考)第3回英検 | 4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動 提出物 パフォーマンスタ(Pテスト) ライティング [レポート形式] 予定 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | Unit 4・5のつづき インプットの確認活動(5) 後期末試験 | 小テスト 定期試験(含 リスニング) | ○ | ○ | ○ |
| 3月 | 一年間の内容定着度合の確認 CEFR A1レベルの問題を用いた英語力チェック 一年間のまとめ | Can-Do振り返り | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 情報 | | 科目名 | 情報I |
|--------------------|-------|--|-----|-------|-----------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 『最新情報I 新訂版』(実教出版株式会社) |
| 1 | 必修 | 2 | 70 | 補助教材 | 『最新情報I 学習ノート 新訂版』(実教出版株式会社) |
| 授業の概要 | | 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | | | |
| 学習到達目標 | | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 情報と情報技術を適切に活用する力、情報社会に主体的に参画する態度を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|------|--|--|-----|
| | 授業姿勢 | 課題提出 | 小テスト | | | 合計 |
| 知識・技能 | 10 | 40 | 50 | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 10 | 50 | 40 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 50 | 50 | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ・オリエンテーション | ・コンピュータ教室の利用法を理解する ・コンピュータに関する基本操作を練習する | ○ | | ○ |
| | ・第1章 情報社会と私たち | | | | |
| 5月 | 1 情報社会 | ・情報社会の特性を理解する | | ○ | ○ |
| | 2 情報社会の法規と権利 | ・知的財産権について理解する 小テスト | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | ・第2章 メディアと情報デザイン | | | | |
| | 1 メディアとコミュニケーション | ・社会の中で利用されている情報デザインについて理解する ・情報を正確にわかりやすく伝える方法について理解する | | ○ | ○ |
| 7・8月 | 2 情報デザイン | | | ○ | ○ |
| | 3 情報デザインの実践 | ・報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する | ○ | | ○ |
| 9月 | 4 実習I | ・プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する 小テスト | ○ | ○ | ○ |
| | 5 実習II | ・Webページ作成の方法について理解する | ○ | ○ | ○ |
| | 単元テスト | | ○ | ○ | |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|----------------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第3章 システムとデジタル化 | ・デジタルについて理解する | | ○ | ○ |
| | 2 情報のデジタル化 | ・コンピュータの仕組みについて理解する 小テスト | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 第4章 ネットワークとセキュリティ | ・情報通信ネットワークの構成やネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解する | | ○ | ○ |
| | 1 ネットワークの構成 2 情報通信の取り決め | 小テスト | ○ | ○ | |
| 12・1月 | 第5章 問題解決とその方法 実習III | ・表計算ソフトの活用方法について理解する | ○ | | ○ |
| 2月 | 第6章 アルゴリズムとプログラミング | | | | |
| | 1 アルゴリズムとその表記 単元テスト | ・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する | ○ | ○ | ○ |
| 3月 | 実習IV | ・変数を使用したプログラムを作成する ・関数を使用したプログラムを作成する | ○ | ○ | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 総合 | | 科目名 | ベーシックスタディ I |
|--------------------|-------|--|-----|-------|----------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | |
| I | 必修 | I | 35 | 補助教材 | デジタル教材「すらら」・『漢字ボックス』 |
| 授業の概要 | | 義務教育段階の国語、数学、英語の学び直しを行うとともに、高等学校での教科・科目の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 | | | |
| 学習到達目標 | | 常用漢字を用い、自らの活動についての確に表現できる。英語のbe動詞と一般動詞の否定文・疑問文を用いて簡単なやりとりができる。基本的な計算方法を理解し、正確に計算できる。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 家庭学習習慣を身に付け、常用漢字を日常的に使おうとしている。学習課題に主体的に取り組み、課題を自ら設定できる。級友と学び合いに取り組むなど、他者と協働する意欲がある。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|-------|-------|-------|------|--|--|-----|
| | 漢字テスト | 活動報告書 | 課題達成率 | 挑戦課題 | | | 合計 |
| 知識・技能 | 100 | | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | 100 | | | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | 70 | 30 | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---------------|------------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | オリエンテーション | 概要、評価規準など説明 | | | |
| | 漢字テスト、数学① | 正負の数の加法と減法 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学② | 分配法則 | ○ | | ○ |
| 5月 | 漢字テスト、すららログイン | 入力練習 英語/数学 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学③ | 分配法則(その2) | ○ | | ○ |
| 6月 | 漢字テスト、数学④ | 式の展開 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学⑤ | 分数 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学⑥ | 分数の計算、単元振り返り | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 漢字テスト、英語① | 英語の基本 単語の発音、アルファベット | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、英語② | 色々な名詞 | ○ | | ○ |
| | 英語④、数学振り返り | 英語の基本 分数の計算を振り返る | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、英語④ | 肯定文と疑問文 | ○ | | ○ |
| 9月 | 漢字テスト、英語⑤ | 否定文と短縮形 単元振り返り | ○ | ○ | ○ |
| | 漢字テスト、数学⑦ | 文字と式 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学⑧ | 文字式の加法と減法 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学⑨ | 文字式の乗法 | ○ | | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|------------|----------------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 漢字テスト、数学⑩ | 分数の計算、単元振り返り | ○ | ○ | ○ |
| | 漢字テスト、英語⑥ | be動詞と一般動詞 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、英語⑦⑧ | be動詞の肯定文と疑問文 | ○ | | ○ |
| 11月 | 漢字テスト、英語⑨ | 一般動詞の肯定文 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、英語⑩⑪ | 一般動詞の否定文と疑問文 3人称、単元振り返り | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 漢字テスト、数学⑪ | 分数の大小、足し算、引き算 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学⑫ | 帯分数と仮分数、分数の掛け算 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学⑬ | 比とその性質 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | 漢字テスト、数学⑭ | 比例式と比例配分 | ○ | | ○ |
| | 漢字テスト、数学⑮ | 速さ、道のり、時間 | ○ | | ○ |
| 3月 | 定着度測定テスト | 漢字、分数、英単語 | ○ | ○ | ○ |
| | 1年間の振り返り | 振り返りシート | | ○ | ○ |